目次

1 刑法基礎原理論 …… 伊東研祐 1
平野龍一『刑法の基礎』（東京大学出版会、1966年）

2 規範論 …… 三上正隆 23
佐伯千仞『刑法における違法性の理論』（有斐閣、1974年）

3 行為論／体系論 …… 仲道祐樹 39
平場安治『刑法における行為概念の研究』（有信堂、1961年）

4 構成要件論／構成要件要素論 …… 松宮孝明 55
小野清一郎『犯罪構成要件の理論』（有斐閣、1953年）

5 危険犯論 …… 謝　煜偉 70
山口厚『危険犯の研究』（東京大学出版会、1982年）

6 結果的加重犯論 …… 内田　浩 86
丸山雅夫『結果的加重犯論』（成文堂、1990年）

7 不作為犯論／不真正不作為犯論 …… 松尾誠紀 101
堀内捷三『不作為犯論』（青林書院新社、1978年）

8 因果関係論／客観的帰属論 …… 山本高子 118
山中敬一『刑法における因果関係と帰属』（成文堂、1984年）

9 故意論／錯誤論 …… 玄　守道 133
不破武夫『刑事責任論』（弘文堂、1948年）

10 過失論 …… 山本紘之 148
藤木英雄編著『過失犯――新旧過失論争』（学陽書房、1975年）

11 法益論／不法本質論 …… 嘉門　優 165
伊東研祐『法益概念史研究』（成文堂、1984年）

12 違法性阻却原理論 …… 橋爪　隆 181
曽根威彦『刑事違法論の研究』（成文堂、1998年）

13 正当防衛論 …… 葛原力三 197
山中敬一『正当防衛の限界』（成文堂、1985年）

14 緊急避難論 …… 森永真綱 212
森下忠『緊急避難の研究』（有斐閣、1960年）

15 被害者の承諾 …… 佐藤陽子 228
町野朔『患者の自己決定権と法』（東京大学出版会、1986年）

16 未遂犯論／実行の着手論／不能犯論 …… 澁谷洋平 244
野村稔『未遂犯の研究』（成文堂、1984年）

17 中止犯論 …… 鈴木一永 260
野澤充『中止犯の理論的構造』（成文堂、2012年）

18 期待可能性論 …… 松宮孝明 276
佐伯千仞『刑法に於ける期待可能性の思想』（有斐閣、1947年〔増補版1985年〕）

19 「正犯と共犯」論 …… 照沼亮介 287
松宮孝明『刑事立法と犯罪体系』（成文堂、2003年）

20 共同正犯論／共謀共同正犯論 …… 小島秀夫 303
下村康正『共謀共同正犯と共犯理論』（学陽書房、1975年）

21 共犯処罰根拠論 …… 豊田兼彦 319
大越義久『共犯の処罰根拠』（青林書院新社、1981年）

22 共犯と身分 …… 佐川友佳子 335
西田典之『共犯と身分』（成文堂、1982年〔新版2003年〕）

23 客観的処罰条件 …… 曲田　統 351
松原芳博『犯罪概念と可罰性』（成文堂、1997年）

24 罪数論 …… 小野晃正 367
虫明満『包括一罪の研究』（成文堂、1992年）

25 住居侵入罪 …… 安達光治 384
関哲夫『住居侵入罪の研究』（成文堂、1995年）

26 名誉に対する罪 …… 野澤　充 400
平川宗信『名誉毀損罪と表現の自由』（有斐閣、1983年〔復刊版2000年〕）

27 財産犯　総論／窃盗罪 …… 内田幸隆 419
林幹人『財産犯の保護法益』（東京大学出版会、1984年）

28 詐欺罪　その他 …… 裹　美蘭 436
藤木英雄『経済取引と犯罪――詐欺、横領、背任を中心として』（有斐閣、1965年）

29 横領罪 …… 上嶌一高 451
平野龍一「横領と背任、再論――『背信説』克服のために」『刑事法研究 最終巻』（有斐閣、2005年）

30 背任罪 …… 品田智史 467
上嶌一高『背任罪理解の再構成』（成文堂、1997年）

31 文書偽造罪 …… 松澤　伸 484
川端博『文書偽造罪の理論』（立花書房、1986年〔新版1999年〕）